

校長室だより

NO.7 平成29年 7月20日

松原市立松原東小学校長 吉岡 英治

二十四節季 「大暑(たいしょ)」

7/23頃 六月中(水無月:みなづき)

太陽視黄経 120度 暑気いたりつまりたるゆえんなれば也(暦便覧)最も暑い頃という意味であるが実際はもう少し後か。夏の土用の時期。学校は夏休みに入り、空には雲の峰が高々とそびえるようになる。

正門脇の花壇の様子です。6中生徒会からいただいたはるかのひまわりの種を植え、伸びてきています。

はるかのひまわりの由来

阪神淡路大震災の激しい揺れが襲いました。木造の建物は、その揺れで、2階部分が崩れ落ち、1階は完全に押しつぶされていました。はるかちゃんがガレキの下から発見されたのは、地震発生から7時間後でした。震災から半年後、かつてはるかちゃんの家があった空き地、はるかちゃんの遺体を発見した場所。驚いたことに、そこに無数のひまわりの花が、力強く、太陽に向かって咲いていました。お母さんはひまわりを見て、「娘がひまわりとなって帰ってきた」と涙しました。近所の人たちは、この花をこう呼びました。はるかのひまわり絆プロジェクトが誕生し、全国ではるかのひまわりは育てられています。6中校区では、児童会・生徒会がプロジェクトに参加して、災害や命の尊さを再考する機会としてフェスタではるかのひまわりの種を配っています。また、緑のカーテンとして栽培しているゴーヤも実りの時期を迎えています。

松原東小年間生活目標

今年度、東小では、子どもの当たり前の質を上げるために、態度教育に取り組んでいます。松原市教育委員松井直輝さんに、職員向け研修会に来ていただき、教員側の取り組み方を学びました。児童会とも話し合いをして、年間生活目標「元気なあいさつ、きれいな学校」を実現するために5つの努力目標を作りました。

「元気なあいさつ、きれいな学校」

- ・元気なあいさついっぱい为学校にします。
- ・ありがとうのおいをもつてそうじをがんばりきれいな学校にします。
- ・かたづけができてくつ箱がきれいな学校にします。
- ・はなしをきくしせいのきれいな学校にします。
- ・当たり前のことができる学校にします。



松原東小児童会



靴をそろえることの意味も子供たちに紹介した下足室の掲示物です。決まっているからやりなさいではなく、子どもたち一人ひとりが考えて行動できるように取り組んでいます。さて、夏休みは生活の中心を学校から家庭・地域へと移すこととなります。各家庭での、子どもとの約束が大切な期間となります。約束を守ることが大人への学習の第一歩だと考えます。是非、生活目標を参考に各ご家庭での約束を考え、実行してみてください。やりきる力がつきますよ。また、地域の皆様にも日頃から子どもの見守り活動等、ご協力いただきありがとうございます。6週間という期間、地域で過ごすことが多くなります。子どものことで、気になることがありましたら、東小(072-335-7200)へ連絡ください。

